

J Aおちいまばり第7次中期計画最重点実施項目進捗管理表（平成28年度～30年度）

金融事業

ビジョン・目指すべき姿		地域に根ざしたJAの金融機関として、農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供を通じて豊かで暮らしやすい地域社会づくりに貢献します。							
重点方針	最重点実践方策	代表的な施策	3年間（平成28年度～平成30年度）の目標	平成28年度の目標値	達成度%	主な取組事項	今後の方針・課題	担当部署	
1	地域金融機関として農業及び地域社会への貢献	農業メインバンク機能の強化	営農経済部門と一体となり、農業者・農業法人への出向く活動を実践するとともに、資金ニーズに応じた最適な農業資金の提案を行い、農業メインバンク機能の強化に取り組みます。	管内の訪問対象先(認定農業者・メイン強化先)との面談を強化し、平成28年度は年100回、平成29年度は300回、平成30年度は450回を目標に取り組みます。	担い手への訪問回数100回	100.0%	5～6月は県下統一商品「JA農業おまかせ資金」のPRを目的とした訪問を実施しました。7～8月は農業に対する夢・希望・将来のプランについて聞き取りをする「農業の夢ヒアリング訪問」を実施し、10月は個人農家、2月は農業法人を対象とした「農業メインバンクCSアンケート調査」を実施しました。その結果、担い手への訪問回数は388件となりました。	次年度は農業融資強化モデルJAとして、営農部門と一体となった農業者への訪問活動を拡充し、更なる農業メインバンク機能の強化を図ります。	融資指導課
2	農業協同組合における金融事業の役割発揮	永続性のある安定的収益基盤の確立	農業・地域振興への取り組みの財源を確保するために、平成30年度でのJA貯金3,000億円、年金振込口座2万件を目標として地域から選ばれる金融機関をめざします。	総貯金残高について、平成28年度末2,856億円、平成29年度末2,930億円、平成30年度末3,000億円をめざします。	年度末の総貯金2,856億	100.0%	4月からは年金定期貯金「結いの恵み」と6月からは夏期キャンペーンと併せて個人貯金の獲得をしました。10月には産地直送定期貯金「紅まどんな」の発売と冬期キャンペーンにより個人貯金の増強に取り組み、年度末の総貯金残高は2880億円となりました。	JAらしい農産物等を活用した金融商品の企画・発売をし、個人貯金の獲得を行います。	金融企画課 推進指導課
				年金振込口座について、平成28年度末19,750件、平成29年度末19,900件、平成30年度末20,000件をめざします。	年金受給者19,750件	100.0%	4月からの年金定期貯金「結いの恵み」と年金花道キャンペーンによる指定替えを中心とした取り組み、年金受給者20,119件となりました。また、初の試みとして当JA年金受給者に向けて「年金コンサート」を実施しました。	年金定期貯金「結いの恵み」と年金花道キャンペーンによる年金口座増加への取り組みを行います。	金融企画課 推進指導課
			選ばれ続けるJA共済となるため、3Q訪問を基軸としたきめ細やかな活動を展開することを最優先し、新しい仲間づくりに取り組みます。	共済ニューパートナーについて、年間1,300人獲得の3年間継続をめざします。	目標獲得数1,300人以上	94.4%	3Q訪問活動を主軸に世帯内未加入者への提案をしました。「こども倶楽部」を積極的に活用した仲間づくりと一時払い(利殖)商品を中心とした新規顧客への提案活動をした結果、1,228人のニューパートナーを獲得しました。	「こども倶楽部」イベント等を実施し、JAファンづくりへ取り組みを行います。未訪問先への3Q訪問を取り組みを行います。	金融企画課 推進指導課